



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和8年8月③
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp

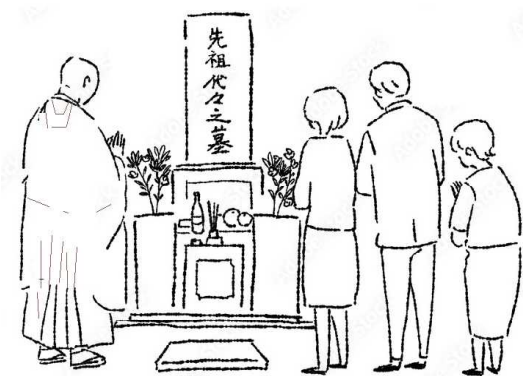


◆墓経の思い出

ずーっと昔、永平寺東京別院長谷寺専門僧堂で真夏の時期に修行していたことがあります。

修行僧は上山してからしばらくの間は境内地から外に出ることは許されません。禁足といいます。電話をかけることも手紙を出すこともできません。ほぼ一日を通して静かなお寺の中におり、外の空気を吸うのは外掃除をするとき程度でした。

ところが、ちょうどお盆の時期でしたので、墓経を命じられることがありました。もちろん境内地なのですが、数百基はあろうかという墓地ですので異空間を感じることが出来ました。さらにお参りの人と声を交わすこともでき、ありがたかったです。



このお寺の墓地には、江戸時代の医師・文化人である伊澤蘭軒、明治の元勳井上馨や洋画家の黒田清輝、喜劇王エノケン、また多くの人の記憶に新しい歌手の坂本九、作詞家の阿久悠、SONY 創業者の一人盛田昭夫などたくさんの著名人のお墓があり、多くの人がお参りされます。

観音堂には高さ約10メートルの十一面観音像があります。戦時下に空襲で失われていましたが、昭和52年、樹齢600年超のクスノキを用いた一木彫りの御像です。

毎日、その観音堂でもお勤めをしましたが、当時その観音像はまだ白木に近い色でした。時の経過にあわせ、いまではずいぶん飴色の濃い色合いになっています。

麻布大観音と称され、多くの参拝者があります。大都会の喧噪の中にありますが、一步山門をくぐるととても静かな空間が広がります。

アクセスのよいところですので、どうぞお参りなされてください。

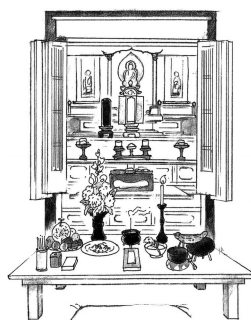
◆ご本尊の加護に感謝の盆参り

ご本尊の加護に感謝し、お盆には多くの皆様にお参りいただきました。遠地からも御供をお届けくださる方もあり、ありがとうございました。



夕立もまったくない盆前の日々でしたが、12日から15日は毎日降雨があり、墓所に美しく供えられたお花を長い時間楽しんでいただけたように思います。暗くなってからは、灯ろうの明かりがにぎやかでした。

◆棚経のお勤めにも感謝



本堂へお参りされるほかに、自宅の仏壇あるいは盆棚に僧侶を招き供養されるいわゆる棚経もほぼ予定通り終えることができました。

お勤めの席に一緒に座り、手をあせてくださるお宅がだんだんと増えているように感じました。

だいたいの日時しかお伝えできず心苦しいですが丁寧にお迎えいただきありがとうございました。